

性別差別をなくすためにできること

相浦中学校 二年 山崎 ゆりな

私は、テレビのニュース番組や新聞の記事などを見て、世界で男女の性別差別が起こっていることを知りました。中でも女性に対する差別が多く起こっていました。この問題を知って今自分にできることはないか考えました。

そもそもなぜ女性差別が起こってしまうのかについて調べてみました。大きく言ってし

まえば人は分類するのが好きだということ。人間は乳幼児期から意識するのが男と女です。人種も宗教もお金のことも理解できないところから男の子と女の子がいることを理解し、男の子は男の子、女の子は女の子として育てられます。幼少期の頃から使うベビ用品なども男の子は青、女の子は赤と分けられていることが多いです。男女性別を分類することは人間にとりかなり根本的な分類の仕事なのではないでしょうか。

では、どのような女性差別が起こっている
のでしょうか。まず自分で女性への偏見や差
別について考えてみました。よく聞く言葉の
中で言えば、「女性は話が長い」や「力が弱い
な」というか、調べてみると他にも「外で
働いて家族を養うのは男性の役割で子と
もを産み、育てるのが女性の役割」や「男
女による賃金格差」など、たくさん問題が起
こっています。

このような問題を減らすために今では女性

開放運動が行われています。女性開放運動と
は、男女差別を除去し、男女平等を達成し、
女性の能力の全面的な開花とその発展を実現
することを目指すというものです。この運動
は世界全体で取り組んでいかなければなら
ないと思います。「女のくせに」などの性別に
対する心ない言葉を世界でなくしていき、誰
もが平等に生活でき、差別や偏見がない平和
な世界を作りあげていかなければなりません。
そのためには、まず私たち一人一人が性別

に関する偏見、差別発言をしないことです。
なぜなら、自分が言った発言で相手を傷つけ
てしまう可能性があるので。自分が発す
る言葉には一つ一つに責任を持ち、相手が傷
つくような行為を絶対にしないようにしなけ
ればなりません。自分の周りに、もしそのよ
うな差別的な偏見を持っている人がいたら、
それと教えて、自分たちから性別への差別や
偏見をなくしていくべきなのです。

そのためには、普段の学校生活から見直す
必要があります。例えば、制服についてです。
今、佐世保市内の多くの中学校で、女子はス
カート、男子はスラックスと分けられていま
す。しかし、本当に性別で分けなければいけ
ないのでしょうか。性別差別をなくするため
は男女関係なく選択できるようにしなければ
ならないと思います。

皆さんの周りには本当に「平等」ですか。私
たちの周りにある。当たり前が誰かへの差別
になっ、ていないか考えるべきなのです。